

## 「久御山町こどもの未来魅力化条例（案）」パブリックコメント実施結果

令和8年2月

### 1 意見の募集期間

令和7年11月27日（木）～令和7年12月24日（水）

### 2 提出意見

（1）久御山町こどもの未来魅力化条例（案）について、あなたが思ったこと、感じたことなどのご意見（件数：3件）

ご意見	回 答
・様々な理由で、学校に行けない子、困っている、苦しんでいる子どもたちがいます。それをサポートする親も、私も含め様々な場面で行き詰まりを感じています。専門家による支援や、受け入れ環境整備が早急に必要と感じています。	・条例において「町の責務」として「必要に応じ適切な支援を実施すること」を定めます。現在でも、スクールカウンセラーの配置や、ゆうホールにおける教育支援センター「ゆうゆう広場」を行っていますが、条例制定後には施策を推進する実行計画を定め、さらに取組を進めます。
・こどもを「地域の宝」と表現している点が、すごく良いと感じました。将来の社会を支える意味でも、大人たちにも希望を与える意味でも、こどもはまさに「宝」だと思います。 ただ、自身の経験上、「将来に夢と希望をもつ」こと自体がプレッシャーに感じることもあると思いました。「夢をもたなくてはならない」「夢を叶えなくてはならない」と考えてしまうこどももいると思います。そもそも、こどもが夢と希望をもてるように大人が規範になる（楽しく過ごす）ことも必要ではないかと感じました。	・条例において「保護者の役割」として「こどもの健やかな成長に関し第一義的な責任があることを認識すること」や「こどもが生きる力を育むことができるよう支えること」を規定するとともに、「地域住民等の役割」として「こどもと活動を行う機会やこどもとの交流・体験の機会を設けるよう努めること」を規定します。こどもが夢と希望をもてるように大人が規範となるべく、「オール久御山」で取り組みます。

ご意見	回 答
<p>・良い環境で成長していける子どもがおられる一方で、虐待等で一般的な「普通の生活・教育」を受けられない子どももおられると思います。そのような課題のある家庭を早期発見し、みんなが「普通の生活・教育」を受けられる地域になれば良いと感じました。また逆に、学校などの「普通の教育」が合わない子どももいると思いますので、そのような個性のある子どもの良いところを伸ばせる環境があれば良いと思いました。（例えば、学びの多様な学校のような、、、）そして、「普通の教育」を受けられなかった子どもが18歳を迎えたとしても、大人になってからでも、学び直し等、失った期間を取り戻せるフォローがあればいいと感じました。また、子どもが好きな事を見つけて、好きな事を目一杯できる環境も町内にあれば良いなと思いました。グランハットがその役割の一部を担うのかもしれませんが、町外の子どもともたくさん交流できたら嬉しいです。</p>	<p>・条例の基本方針において、「課題の早期発見、必要な支援の充実を図る」を規定し、「町の責務」として「必要に応じ適切な支援を実施すること」を定めるとともに、「保護者の役割」において「こどもの年齢及び成長の程度に応じた養育に努めること」や「こども園・学校・事業所の役割」として「こどもの年齢及び成長の程度に応じ、こどもが主体的に学び、生きる力を育むことができるよう支えること」を定めます。</p> <p>・また、条例制定後には施策を推進する実行計画を定め、さらに取組を進めます。</p>

**（２）この条例（案）を読んで、こどもたちのため、あなたはどのような取組が必要と思われたか（件数：１件）**

ご意見	回 答
<p>・不登校児に関する補助金の創設や、学びの機会の保障、心理士など専門家の配置、フリースクールなどの居場所環境整備が早急に必要と感じています。また、特に教育や心理に関する資格があるわけではないですが、町と連携して、そういう子たちが気軽に来られる昼間の居場所を開設したいという思いもあります。いわゆるこども食堂や、学校に通う子たちが放課後などに利用する場所は、敏感な子にとってはハードルが高いので。</p>	<p>・現在の不登校対策としては、まずは、校内支援（中学校では「ほっとルーム」）で対応し、また、登校困難な児童生徒には教育支援センター「ゆうゆう広場」で対応しています。また、スクールカウンセラーの配置もしています。</p> <p>・フリースクールについては、「教育機会の確保」のひとつ、多様な学びの場として需要が高まっています。条例制定後には施策を推進する実行計画を定めていきますが、その中で具体的な取組を検討していきます。</p>